【秋号】発行日／2026年9月18日

あなたとNiploを結ぶ情報誌

Niplo Wave

ニプロウェーブ



シリーズゆめ、農業

こんにちは 杉山さん

松山記念館 リニューアルオープン

いいとこあるよ! ニプロ周辺MAP

北アルプスの麓 JR大糸線沿線の旅

vol. 47
2026 Autumn

あなたとNiploを結ぶ情報誌
Niplo Wave ニプロウェーブ
vol.47 秋号



【表紙のイラスト】
ミニハーベスタGRA651での
さつまいも収穫作業
背後に霞ヶ浦と遠く筑波山を望む
（茨城県阿見町）

松山株式会社ホームページ
https://www.niplo.co.jp

CONTENTS

1 シリーズゆめ、農業
こんにちは杉山さん

9 松山記念館
リニューアルオープン



11 ニプロ作業機講座 47
ニプロロータリーについて

13 いいとこあるよ! ニプロ周辺MAP
北アルプスの麓
JR大糸線沿線の旅

16 ニプロみんなの広場

こんにちは 杉山さん

埼玉県川越市

今回は、埼玉県川越市で水稲を中心に農業を営む杉山様を訪ねました。
埼玉県川越市は、県南西部、東京都心から約30km圏内に位置する人口約35万人のまちです。市街地には蔵造りの町並みや歴史ある寺社が残り、その風情から「小江戸」と呼ばれています。一方、市の郊外へ目を向けると水田や畑が広がり、観光都市としての顔と、首都圏の食を支える農業都市としての顔を併せ持っています。



川越市の歴史と文化

川越の歴史は古く、平安時代末から鎌倉時代にかけては、平家にルーツを持つ河越氏が館を構え、武蔵国の有力武士として勢力を広げました。長禄元年（1457年）には、太田道真・道灌父子が現在の初雁公園周辺に川越城を築き、町の中心は現在の市街地へと移っていきます。戦国時代には小田原北条氏の支配下に置かれ、武蔵国を治めるうえでの重要な拠点となりました。

天正18年（1590年）、豊臣秀吉の小田原征伐によって小田原北条氏が滅び、徳川家康が関東へ入ると、家康の重臣であった酒井重忠が川越城主となりました。翌年には行商人を集めて「連雀町」を新たな町場として整備するなど、城下町の発展に力を注ぎました。その後も川越には幕府の要職を務める譜代大名が相次いで配置され、江戸の北を守る重要な拠点として発展しました。

中でも寛永16年（1639年）に川越藩主となった松平信綱は、川越城と城下町を整備するとともに、新河岸川の舟運や武蔵野台地の新田開発を進めました。舟運では、米、麦、野菜、茶、さつまいも、木材などが江戸へ運ばれ、江戸からは衣類、砂糖、乾物、肥料などがもたらされました。川越が「小江戸」と呼ばれる背景には、町並みの美しさだけでなく、江戸と人や物、文化を活発に行き来させてきた歴史があります。

現在、川越城の本丸跡は初雁公園として整備されています。川越城はかつて本丸、二ノ丸、三ノ丸を備えた大規模な城でしたが、明治以降に建物の多くが失われました。園内には嘉永元年（1848年）に建てられた川越城本丸御殿の一部が残り、玄関、大広間、家老詰所から川越藩17万石の格式を感じることができます。初雁公園には本丸御殿のほか、土塁の一部など城の痕跡が残り、隣接する川越市立博物館や美術館とともに、城下町川越の歴史を伝える一帯となっています。


川越城本丸御殿

川越城の南東に位置する喜多院は、天長7年（830年）に慈覚大師円仁が無量寿寺を開いたことに始まると伝えられる天台宗の名刹です。慶長17年（1612年）、徳川家康の信任を得ていた天海僧正が住職となってから「喜多院」と呼ばれるようになりました。寛永15年（1638年）の川越大火で山門を除く建物の多くを焼失しましたが、3代将軍徳川家光の命によって江戸城内の建物が移築されました。また境内にある「五百羅漢」は、天明2年（1782年）から約50年をかけて造られた、535体の石仏群です。一体一体の表情や仕草が異なり、笑う姿や居眠りする姿など、人間味あふれる羅漢像を見比べながら楽しめます。


喜多院


五百羅漢

川越城の北側に鎮座する川越氷川神社は、欽明天皇の時代に武蔵一宮氷川神社から勧請されたと伝えられ、江戸時代には川越城下の総鎮守として、歴代城主や城下の人々から厚い信仰を集めました。嘉永3年（1850年）に建てられた本殿には、川越まつりの山車人形などを題材とした精緻な彫刻が施されています。氷川神社では夏になると境内に色鮮やかな風鈴が並ぶ「縁むすび風鈴」が開催されます。風鈴には願い事を書いた短冊を結ぶことができ、涼やかな音色とともに良縁を願う、夏の風物詩として人気を集めています。


縁むすび風鈴


川越氷川神社

毎年10月に開催される「川越まつり」も、氷川神社の神幸祭を起源とするもので、神社と城下町の深いつながりを今に伝えている伝統行事です。慶安元年（1648年）、川越藩主松平信綱が氷川神社に祭礼用具を寄進したことを起源とし、精巧な人形



蔵造りの町並みと時の鐘


川越まつり会館

や彫刻で飾られた山車が蔵造りの町を巡行します。山車同士が向かい合い、笛や太鼓、踊りで競い合う「曳(ひ)っかわせ」は祭り最大の見どころです。「川越氷川祭の山車行事」は国の重要無形民俗文化財に指定され、ユネスコ無形文化遺産にも登録されています。

川越まつり会館では、川越まつりで実際に曳かれる豪華な山車を間近で見学できます。館内では祭りの歴史や山車の構造、囃子なども紹介されており、開催時期以外でも川越まつりの迫力と魅力を楽しめる施設です。

川越を代表する景観が、黒漆喰の壁と重厚な瓦屋根を持つ蔵造りの町並みです。明治26年（1893年）の川越大火では中心市街地の大部分が焼失しましたが、焼け残った蔵造りの建物が注目され、その後、火災に強い商家が数多く建てられました。現在の一番街には、江戸から明治にかけての面影を伝える商家が軒を連ねています。

町並みの中にそびえる「時の鐘」は、江戸時代初期から城下町に時を知らせてきた川越のシンボルです。現在の鐘楼は川越大火の翌年、明治27年（1894年）に再建されたもので、今も午前6時、正午、午後3時、午後6時の1日4回、鐘の音を町に響かせています。


りそな コエドテラス

江戸時代の城下町として発展した川越は、明治から大正にかけても県内有数の商業都市として栄えており、近代の洋風建築も残されています。

大正7年（1918年）築の旧銀行建築を活用した「りそな コエドテラス」は、埼玉県初の銀行として明治11年（1878年）に創立した第八十五国立銀行をルーツとします。明治26年（1893年）の川越大火で旧本店が焼失した後、建築家・保岡勝也の設計により現在の建物が第八十五銀行本店として建てられました。その後、埼玉銀行などを経て令和2年（2020年）まで銀行店舗として使用され、令和6年（2024年）に「りそな コエドテラス」として生まれ変わりました。館内には旧金庫室や、頭取が実際に使用した机や応接家具が残る「旧頭取室」があり、銀行として歩んだ100年以上の歴史を感じることができます。川越では、江戸から近代へ続く建築の移り変わりも楽しめます。

台地と低地が育んだ川越の農業

川越市の地形は、南西から続く武蔵野台地の北東端と、その周囲に広がる河川低地に大きく分けられます。川越城や中心市街地は周辺より一段高い台地上にあり、市の南部には水はけのよい畑作地帯が広がっています。一方、荒川、入間川、新河岸川などの周辺には低地が広がり、古くから稲作が行われてきました。台地の畑作と低地の稲作が近接していることが、川越農業の大きな特徴です。

武蔵野台地では、江戸時代の新田開発によって麦、野菜、茶、桑などの商品作物が生産されました。中でも川越の農産物として有名なのが、さつまいもです。川越周辺で生産されたさつまいもは、新河岸川の舟運を利用して江戸へ運ばれ、「本場物」として人気を集めました。「栗（九里）より（四里）うまい十三里」という言葉とともに、現在も川越を代表する味覚として親しまれています。

その一方で、川越の発展を古くから支えてきたのが稲作です。荒川や入間川に囲まれた低地は、川が運んだ肥沃な土砂が堆積し、水も豊富に使えることから稲作に適しています。現在も市の北部、東部、西部を中心に水田が広がり、主に「コシヒカリ」と埼玉県生まれの「彩のきずな」が栽培されています。また、市内では化学肥料を減らすため、田んぼでレンゲやハーブを育て、緑肥としてすき込む取り組みも行われています。水田は米を生産するだけでなく、雨水を蓄えて洪水を防ぎ、多くの生き物を育み、川越らしい田園景観を守る役割も担っています。

市内で栽培される「彩のきずな」は、暑さや病害虫に強く、さわやかな甘みが特徴の埼玉県育成品種です。都市化が進む地域にまとまった水田が残ることは、地元産米を供給するだけでなく、大雨時に水を一時的に蓄えることや、生き物のすみか、四季を感じられる景観を維持することにもつながっています。



杉山様を訪ねました

今回訪れた杉山様は代々受け継がれてきた農業を守りながら、新たな経営の形を築こうとしています。今回、レンゲなどの緑肥や収穫後の二番穂を処理するため、ニプロストローチョッパーNSC2300RVを導入していただきましたので、その使い勝手や今後の農業についてお話を伺いました。

▶現在の経営規模と、農業について教えてください。

水稲を中心に、現在は約10町を耕作しています。麦や大豆はほとんど作っておらず、基本的には米が中心です。家は代々農家で、私が8代目になります。曾祖父の代までは専業だったと思いますが、祖父の代からは会社勤めをしながら農業を続けてきました。

私もサラリーマンの傍らで農業をしていましたが、昨年約28年間勤めた会社を退職し、専業農家になりました。自分の中では「兼業でできるのは10町まで」と決めていました。近所から「もう自分ではできないので田んぼをお願いしたい」という話が増え、これから10町を超えていく見込みが出てきたため、思い切って会社を辞めました。

▶現在の農地は自作地が中心ですか。

自分の家で所有している農地は全体の2割くらいです。残りは借りている田んぼや作業を受託している田んぼで、少しずつ面積が増えてきました。今後も、地域の調整がつき、引き受けられる農地があれば受けていきたいと思っています。

家族経営で続けるなら、まずは20町くらいが一つの目安です。20町を超える段階になれば、法人化も考えなければならないと思っています。ただ、農地は自分の希望だけで増やせるものではありません。貸し手の方や地域、行政との調整もありますので、借りられる農地を着実に引き受けながら経営を整えていきたいです。

▶地域の農業は、これから大きく変わりそうですか。

おそらく、この2～3年で一気に変わると思います。この地区では農家組合に入っている人はいても、実際に田んぼを耕作しているのは7軒程度です。高齢の方も多く、来年突然「もうできない」という話が出てもおかしくありません。

川越は都会に近く、周囲に勤め先が多いので、農業を継がず会社員になる道を選びやすい地域です。その反面、新しく米農家を始めようとしても、家族が生活できるだけの面積をまとめて借りるのは簡単ではありません。地方より新規参入が難しい面もあると思います。地域の田んぼを誰が守るのかという問題は、もう遠い将来の話ではありません。

いずれ息子が農業を継いでくれたら面白いとは思いますが、無理に継げとは言えません。ただ、本人が将来農業をやりたいと思ったとき、選べる状態にはしておきたいと思っています。そのためにも、私が50歳になる前くらいまでに、ある程度の経営基盤をつくっておきたいです。

ちょうど米価が上向いたことも、専業になる一つの後押しになりました。5年後、10年後の米価や農業がどうなるかは分かりませんが、今は経営をつくり直すチャンスだと考えています。

▶杉山様の圃場には、どのような特徴がありますか。

川に近いので砂質の土を想像されるかもしれませんが、うちの圃場には粘土質の強い田んぼも多くあります。以前プラウを借りて試したところ、土に深く入りすぎて前へ進みにくく、上手くいきませんでした。今のところはスピードカルチくらいがちょうどよいと感じています。

また、この地区では用水を自由な時期に使えないことも大きな特徴です。必要な時に水を入れられるのではなく、ゴールデンウィーク頃になると地域全体に一斉に用水が来ます。そのため、必要な時に自分の田んぼだけ水を入れる乾田直播のような栽培は、単独では取り組みにくいです。面積がさらに増えれば省力化のために検討したい技術ですが、水利や機械投資を考えると、地域全体で取り組む必要があると思います。

現在の主力トラクターは70馬力クラスで、細かな作業にはもう1台の50馬力クラスを使い分けています。経営面積が増えるにつれて作業機も大きくなり、トラクターにも油圧揚力やけん引力が求められるようになりました。

▶ストローチョッパーを導入した目的を教えてください。

主な目的は、レンゲなどの緑肥と、稲刈り後に伸びる二番穂の処理です。以前は地域の組織でレンゲの緑肥利用に取り組んでおり、かつてはレンゲ祭りも開催されていました。現在は解散し、祭りもなくなりましたが、レンゲを栽培する取り組みは残っています。

花が咲く時期には一面がきれいな景色になり、車を止めて眺めたり、写真を撮ったりする人もいます。レンゲは肥料として田んぼにすき込めるだけでなく、地域の人に楽しんでもらえるところも良いと思います。肥料価格が不安定になっていることを考えても、緑肥を活用する意味は今後さらに大きくなるのではないでしょうか。

レンゲは種をばらまいて栽培しますが、生育が進んだり、雨で倒れて地面に張り付いたりすると、普通のモアでは処理しにくくなります。細かく粉砕しておけば、その後に土へ混ぜ込みやすくなるため、ストローチョッパーを導入しました。

▶これまで使用していたモアとの違いはいかがですか。

これまでは1.6m幅のフレールモアを使っていました。ストローチョッパーは従来のモアより細断力が高く、レンゲや二番穂がすき込みやすくなったのが大きな違いです。またフレールモアでは条件によって機体が跳ねることがありましたが、ストローチョッパーは安定して地面に追従します。機体が重いので、最初は振動や音がどうなのか気になりましたが、実際に使うと思ったより静かで、振動もほとんど気になりませんでした。重量がそのまま作業の安定性につながっていると感じます。70馬力のトラクターでも作業できますが、重量のある作業機を使うと、もう少し大きなトラクターでも良かったかなと思うことはあります。

▶ニプロの作業機を選んでいただいている理由は何でしょうか。

最初にトラクターを購入した時、ロータリーをどのメーカーにするか考えました。いくつか候補はありましたが、装着方式や作業機を付け替える時の互換性を考えてニプロにしました。一度作業機をそろえると、付け替えの利便性がありますし、大型トラクターにも対応するラインアップがあることも理由です。


先代のトラクターとニプロSX

もともと機械や道具をいじるのが好きで、昔からバイクも自分で触っていました。以前のトラクターはミッションケースにクラックが入ってオイルが漏れましたが、自分で応急修理し、今も負荷の軽い作業に使っています。農業機械も構造を見ながら、自分で直せるところはできるだけ直します。

一方で、農繁期に機械が止まると、すべての作業が止まってしまいます。そのため、故障した時にすぐ対応してくれる販売店との付き合いも重視しています。農業機械は性能だけでなく、近くで支えてくれる人の存在も大切だと思います。その点ニプロの歴代の担当者はトラブルがあると駆けつけてくれるので頼りにしています。



ロータリーはLXRをお使いいただいています

▶専業農家になって、働き方は変わりましたか。

専業になってみると「セルフブラック」ですね（笑）。会社員の頃は昼休みに少し休む時間もありましたが、今は自分が作業をしなければ、後で自分の首が締まります。経営者であり、同時に労働者でもあります。朝は明るくなると目が覚めて、そのまま田んぼへ行ってしまいます。長年の習慣になっているので、忙しくてもつい動いてしまいます。

これまでの米価では、作ってもなかなか採算が合いませんでした。専業になるなら、米以外の仕事も始めなければならないと思っていた時期もあります。ただ、今はまず米を中心に経営の形をしっかりつくることを考えています。地域では近い将来、農地の受け手が必要になります。大変ではありますが、頼まれた田んぼを引き受け、自分の代で経営を整え、次の世代が農業を選べる形を残していきたいです。消費者から見れば米価の上昇は負担ですが、生産者側からすれば、これまでの価格では採算が合わなかったという実感があります。米を守るには、作り続けられる経営条件が必要だという思いが、専業化や規模拡大への決意にもつながっています。

取材後、実際にストローチョッパーでレンゲを細断する作業を見せていただきました。重量のある機体は圃場を安定して進み、レンゲを細かく粉砕していきます。後方のカバーを開いて作業することで、朝露で水分を含んだレンゲも詰まることなく作業が出来ていました。



ストローチョッパーでレンゲを細断する様子

歴史ある城下町から少し車を走らせれば、今も広い水田が残る川越市。その田園風景は、杉山様のように地域の農地を引き受け、次の世代へつなごうとする農家の努力によって守られています。

杉山様、春作業前のお忙しい中、貴重なお話をいただき、誠にありがとうございました。





ニプロストローチョッパー NSC シリーズについて
詳しくはニプロウェーブ vol45をご覧ください



松山記念館

RENEWAL OPEN

リニューアルオープン

第一展示室

Photo HajimeKato

松山記念館が、2025年11月にリニューアルオープンしました。松山犂をはじめとする農具や資料を通して、日本の農業と松山の歩みを伝える記念館です。新築された第一展示室は中央が高く“バシリカ様式”の骨格が採用されており、高窓にはまるでステンドグラスのようにすきの部品が設えられています。第一展示室には松山すき開発に至るまでの資料や、普及活動の記録、創業者の原造が当時身に着けていたものなどが展示されています。
新しく生まれ変わった空間で出会う、百年以上にわたる農業とものづくりの歴史。
松山記念館は、過去を伝えるだけでなく、これからの農業について考える場所として、新たな歩みを始めています。



第二展示室

2026年3月には、
館が所蔵する「松山犂の
製作用具及び製品」541点が、
国の登録有形民俗文化財に
登録されました。



第三展示室

元々地域の米蔵として昭和七年に建てられた第二展示室は、その歴史的価値はそのままに、内装をリニューアルしました。競合メーカーを含めたすき46点が壁一面に並び、明治から昭和にかけて約300社が技術を競い合った軌跡を展示しています。また創業当時に工場で使われていた工具や工作機械、治具なども展示されています。

第三展示室にはくわや千歯こきなどの大正・昭和期の稲作農具を展示しています。

弊社工場見学と併せて是非お立ち寄りください。



公益財団法人 **松山記念館**

〒386-0401
長野県上田市塩川2874-1
TEL：0268-35-3650

開館時間：10時～16時
休 館 日：土日・祝日・お盆・年末年始
入館無料

松山記念館
HP

館内の様子を
動画でも
ご覧いただけます。

ニプロロータリーについて

1966年の発売から今年で60周年を迎えるニプロロータリー。お客様のご要望に応えるため研究開発を重ね、現在では多彩なラインナップを展開しています。今回は、各シリーズの特徴や歴史を改めてご紹介します。

ニプロロータリー

1983年にXシリーズロータリーとして発売し、モデルチェンジを重ねて進化し続けてきました。長年お使いいただける耐久性の高さを誇る、ニプロブランドを象徴する製品です。最新モデルでは新型爪とラセン配列を採用し耕耘性能がより向上しました。また用途や土壌条件に合わせて様々な爪を取り付けることが可能です。



新型爪採用で耐摩耗性アップ

フランジタイプ

耐摩耗性
約1.3倍に
アップ



ホルダータイプ

耐摩耗性
約1.7倍に
アップ



POINT

- 様々な条件に適応する汎用性の高い標準ロータリー
- 用途や土壌条件にあわせて様々な爪を選択可能
- 作業幅は1.4mから3mまで10モデル、約200型式をラインナップ

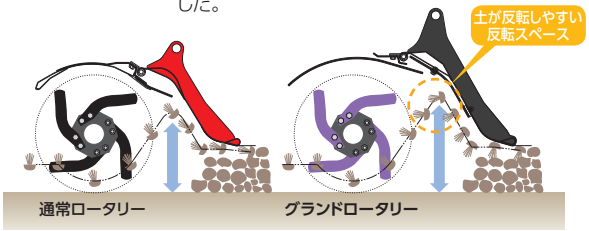
グランドロータリー

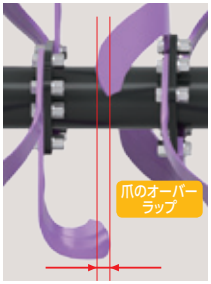
2015年のグランドロータリーSKSシリーズの発売から、その圧倒的なすき込み力が評判を呼び急速に普及が進みました。水田での耕耘だけではなく、畑での収穫後の残渣のすき込みや、転作田での播種作業にも使え、様々な場面で大活躍しています。



新開発爪と反転スペース

すき込みに優れた新型爪と1本ラセン配列を採用。反転スペース(空間)を設け優れた埋込を実現しました。





重なりが大きい

反転に優れた曲がりの大きい専用爪を採用。爪と爪のオーバーラップを大きくし残耕を防止しています。

POINT

- すき込み性能の高いグランドロータリー専用爪と土の反転スペースで驚異のすき込み力を実現
- 33～60馬力で使用可能なSKS01、50～105馬力で使用可能なSKL01、85～120馬力で使用可能なSKDの3モデルをラインナップ

サーフロータリー



雪解けが遅く春作業が忙しい北海道の水田では、水が溜まった状態で春耕耘を行うことが多くあります。サーフロータリーはそのような厳しい条件の圃場を浅起こし・広幅・高速で耕耘したいという要望に合わせて開発されたロータリーです。省力作業が可能なため、標準タイプのロータリーより作業幅の広いモデルを選択できます。中型トラクタ向けのTBSと、大型トラクタ向けのTBMをラインナップ。



湿田高能率耕耘
サーフ4

転作田高能率砕土
サーフ6

POINT

- 浅起こしのサーフ専用爪で省馬力耕耘で作業速度5km/hを実現!
- 湿田などで幅広高速耕耘が可能な4枚爪仕様サーフ4と、水田転作などの砕土性能を重視した6枚爪仕様サーフ6の二種類から選択可能。
- 作業深さは標準ロータリーより少し浅めの10～12cm

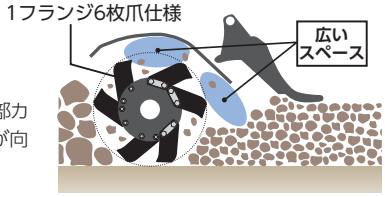
フィールドロータリー



フィールドロータリーは主に畑作向けのロータリーです。もともとは標準ロータリーの6枚爪仕様として販売されていましたが、耕耘部カバーと均平板を畑作に最適化し、砕土性・均平性を高めた大規模畑作用ロータリーとして発売されました。DXRベースのFXEシリーズと、LXRベースのFXLシリーズの2モデルをラインナップ。

砕土スペースの確保
整地性を向上させるカバー形状

6枚仕様のBM601G爪に合わせて耕うん部カバーと均平板の形状を見直し、砕土性・整地性が向上しました。



POINT

- 砕土性の高いM爪を1フランジに6枚取り付けた6枚爪仕様で野菜の残渣などをしっかり粉砕します。
- 高馬力トラクタでの使用を想定し、耐久性・メンテナンス性を向上させました。

本社工場に併設されている松山記念館分館には、約60年前のロータリー「LA-1700」が展示されています。
創業以来すきを主体に製造・販売を続けてきた松山では、当初ロータリーの開発に消極的だったようです。しかし時代の変化に対応していかなければ生き残れないという考えから開発に踏み切りました。結果その10年後には売上の4割をロータリーが占めることとなり、まさしく会社の転換点となりました。



各機種の詳細につきましては
弊社HPにてご確認ください。

ニプロ周辺MAP いいとこあるよ！

北アルプスの麓
JR大糸線沿線の旅



長野県松本駅から新潟県糸魚川駅を結ぶ全長105.4kmの単線鉄道路線のJR大糸線は、南小谷駅を境に、電化されたJR東日本区間と、非電化のJR西日本区間に管轄が分かれる珍しい路線です。来年2027年は全線開通から70年。その車窓からは北アルプスの山並みと田園、姫川の渓谷風景が楽しめます。今号では、その沿線・北アルプス地域の見どころを紹介します。



大糸線の沿革 ～観光路線としての発展と国鉄分割民営化の歩み～

◇私鉄「信濃鐵道」として開業	1915（大正4）年、民間会社（信濃鐵道）により松本～信濃大町間が開業。1926年には同区間が電化され、電車が走り始める。
◇国営化と「大糸南線・北線」の建設	1934年に糸魚川側からの「大糸北線」が開業。1937年に信濃鐵道が買収・国有化され「大糸南線」となる。
◇全線開通（一本の「大糸線」に）	1957（昭和32）年、未開通だった中土～小滝間が開通し、信濃大町と糸魚川を結ぶ「大糸線」として全通。
◇観光路線としての発展と南小谷電化	1967（昭和42）年、スキーや登山需要に対応するため、松本～南小谷間の電化が完了。首都圏からの直通特急（「あずさ」など）が運行される。
◇国鉄分割民営化による南北分断	1987（昭和62）年、国鉄分割民営化でJR発足に伴い、電化区間の松本～南小谷70.1km（JR東日本）と、非電化区間の南小谷～糸魚川35.3km（JR西日本）に分社・分割される。


南小谷駅

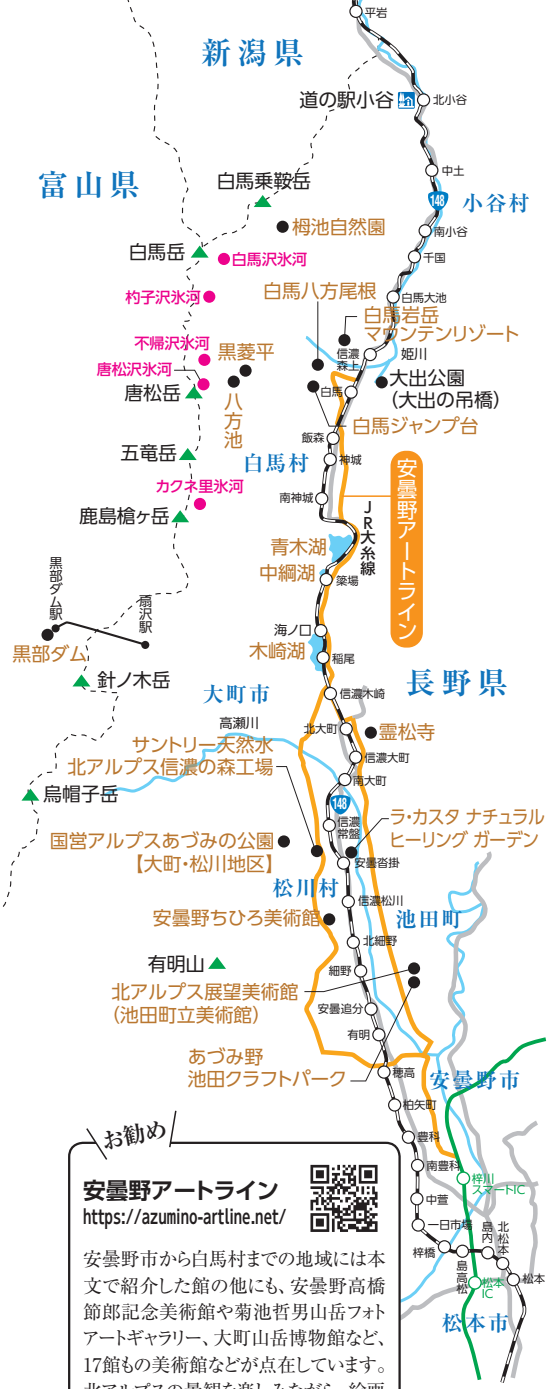
長野県の北西部、北アルプスの標高3000m級の山々の東麓に位置する大町市と北安曇郡（池田町、松川村、白馬村、小谷村）地域（県の行政区分では以前の大北地域から**北アルプス地域**に改称）は、雄大な自然に恵まれ、ウィンタースポーツはもとより、年間を通じて多くの観光客が訪れます。

◆

長野県北西部、安曇野市の北隣りの池田町には、標高634mの見晴らしの良い高台に広がる公園**あづみ野池田クラフトパーク**があります。「サンセットポイント100選」に認定されている広々とした公園です。園内にある**北アルプス展望美術館（池田町立美術館）**は文字通り、正面に北アルプスの峰々、安曇野のシンボル有明富士とも呼ばれる有明山と安曇野のパノラマが広がるロケーションにあり、趣向を凝らした企画展を随時開催しています。北アルプスの山懐から流れてくる高瀬川対岸の松川村にある**安曇野ちひろ美術館**。いわさきちひろの代表作や絵本の原画のほか、世界各国の絵本画家の作品も展示。ちひろの両親の出身地・信州は、ちひろにとって幼いころから親しんだ心のふるさと。周囲に広がる53,500㎡の公園内には、「窓ぎわのトットちゃん広場」もあり、親子で楽しめる展覧会やイベントを随時開催、子どもから大人まで1日ゆっくり過ごすことができます。


北アルプス展望美術館


安曇野ちひろ美術館




サントリー天然水 北アルプス信濃の森工場

松川村と大町市に跨る広大な敷地の**国営アルプスあづみの公園【大町・松川地区】**では、安曇野の自然・文化に触れ、観察や創作体験、アクティビティのプログラムなど、子どもも楽しめる自然体験型の施設です。近隣に立地する41万㎡もの敷地を有する**サントリー天然水北アルプス信濃の森工場**では、7つの個性的なフィールドに分かれた敷地内で天然水に関する展示に加え、100年先の未来を見据えたサステナブルな取組みを体感してもらえるような見学ツアー(要予約)を行っています。予約なしでも散策できる散歩道を巡る森林浴もお勧めです(営業日は事前にご確認ください)。大町市で生まれたナチュラル化粧品ブランドのラ・カスタ。以前は製造工場で今は研究施設の敷地内の庭園を一般公開(**ラ・カスタ ナチュラル ヒーリング ガーデン**)しています。ラベンダーやミント他、数多くの香りを試せる調香体験もできます(入園・体験とも要予約)。

1404年創建の曹洞宗の古刹(れいしょうじ)**霊松寺**。駐車場からも大町の街並みを一望でき、静謐な参道を進むと県宝に指定されている二階建て楼門形式の立派な山門が迎えてくれます。殊に秋にはオハツキイチョウの大木をはじめ鮮やかに色づく紅葉が美しい。見頃は例年10月下旬から11月上旬です。


霊松寺山門と紅葉

大町市は、扇沢駅から富山県立山町立山駅までの約100kmを結ぶ国内有数の山岳観光ルート立山黒部アルペンルートの長野県側の玄関口です。扇沢駅から関電トンネル内を電気バスに約16分(6.1km)乗車して黒部ダム駅


黒部ダム 夏の観光放水

ちょっと立ち寄り

大出公園(大出の吊橋)



姫川に架かる大出の吊橋と後景の白馬三山の景観は、春の桜と残雪をはじめ、四季折々、人気の撮影スポットです。吊橋のたもとには遊歩道が整備されていて、旧家や古径庵が並ぶ集落の古民家カフェでひと休み。穏やかで素敵な時間を過ごせます。

お勧め

安曇野アートライン

https://azumino-artline.net/

安曇野市から白馬村までの地域には本文で紹介した館の他にも、安曇野高橋節郎記念美術館や菊池哲男山岳フォトアートギャラリー、大町山岳博物館など、17館もの美術館などが点在しています。北アルプスの景観を楽しみながら、絵画や造形鑑賞、遊びやさまざまな体験など個性的な各館を巡るのもお勧めです。

へ。**黒部ダム**は通称「黒四ダム(くろよんダム)」と呼ばれる両翼に重力式コンクリートのウィンダムを持つアーチダム。えん堤の高さ186mは日本一で50階建ての高層ビルよりも高いダムです。難工事の末、7年もの歳月をかけ昭和38年に完成。毎年6月26日から10月15日まで行われる毎秒10t以上の観光放水の迫力は圧巻です。ダムを取り囲む北アルプスの峰々も、季節ごとにその表情を変え、巨大な人工構造物との対比に圧倒されます。

◆

仁科三湖と呼ばれる**木崎湖**、**中綱湖**、**青木湖**。一番南の木崎湖はサップやカヌー、フィッシングなどのウォータースポーツ、冬のワカサギ釣りも盛ん。6月中旬から7月の色とりどりに咲く睡蓮も楽しめます。三湖の中では最も小さい中綱湖ですが、貴重な自然を多く残し、春には湖面に映るオオヤマザクラを撮影するスポットとして人気です。三湖の中でも最大で、県内で3番目の大きさの青木湖。湖底からの湧水で透明度が高く、白馬三山を背景にした眺望がお勧めです。


中綱湖のオオヤマザクラ

◆

白馬八方尾根エリアは、1998年に開催された長野冬季オリンピックの滑降競技などのアルペンスキー会場で、ジャンプ競技の会場となった白馬ジャンプ台は、地上約140mのスタート地点までリフトで登ることができ、選手目線での


秋の八方池と白馬三山

高度感や臨場感を体験できます。また、紅葉樹の多いこのエリアでは、秋の紅葉が見事な絶景を生み出します。ゴンドラ・リフトを乗り継いで、黒菱平から登り着いた八方池越しの白馬三山の景色は白馬を代表する山岳景観です。**白馬岩岳マウンテンリゾート**は、最近人気の絶景ブランコ「ヤッホーlスイング」「白馬ジャイアントスウィング」など年間通して楽しめる各種アクティビティが充実しています。


白馬岩岳ヤッホー！スイング

◆

長野県の北西端に位置し有数の豪雪地帯であり、村総面積の88%を森林が占める自然豊かな小谷村(おたりむら)。白馬乗鞍岳の火山活動から長い年月をかけて生まれた標高約1,900mの高


秋の栂池高原


春の栂池自然園 水芭蕉

層湿原**栂池自然園**。ゴンドラとロープウェイを乗り継いで降り立った園内からは、晴れた日には白馬三山の雄姿を望め、夏の高山植物、秋の紅葉が見事です。**道の駅小谷**(おたり)は、加温・加水なしの源泉掛け流しの天然温泉「深山の湯」を併設。食事処では、地元産米をかまどで炊いたご飯を提供。ここは地元産農産物やお酒はもちろん、小谷村の食や人が集まる拠点にもなっています。

大糸線でのんびり鉄道旅、車で田園風景の中を爽快に。次の旅は、北アルプスの麓へ出かけてみてはいかがでしょうか。

トピックス

日本にもある氷河

「日本に氷河はない」とされてきたが、北アルプス北部、立山・剱岳の3つの万年雪が実は動いていたことが明らかになり、2012年4月、氷河と認定された。学術的に氷河と確認された日本の氷河は、現時点で10箇所あります。これらの氷河は、世界屈指の豪雪が育んだものです。長野県にはカクネ里氷河、唐松沢氷河、不帰沢氷河、杓子沢氷河、そして今年7月に確認された白馬沢氷河の5箇所。地球温暖化の影響で、国内にある氷河の融解も進んでいるとの調査報告もあり、今後、生態系や高山植物、水資源への深刻な影響が懸念されています。

※氷河の定義：陸上で重力によって常に流動している多年性の氷雪の集合体(日本雪氷学会,2014)
夏に融けきらずに越年する雪渓は「多年性雪渓」と呼ばれ、氷体を持つものもありますが、氷河との違いは「顕著な流動現象を示さないこと」とされています。(日本雪氷学会,2014)

ニプロ みんなの広場

たくさんのお便りありがとうございました。皆様のご意見、ご感想楽しく読まさせていただいています。紙面の都合で載せることができなかった皆様には悪しからずご了承いただき、お詫び申し上げます。（事務局）

■長野県誕生150年おめでとうご座居ます。私も5代目です。私の家も初代から150年になります。今は玉ネギ20haを中心に加工キャベツ南瓜を作付しています。これからも作業機共々宜しくお願いします。（北海道 上野様）

■毎回楽しく読ませてもらっています。ニプロ製品を数台使用させていただいていますが、毎回新製品と整備の説明が大いに助かっています。今回はウィングハローでしたが私はWRZ3600を使用していますので参考になりました。（北海道 谷上様）

■令和7年の春にLXE3030VHNロータリーを導入しました。最初はロータリー回転数が1000回転と聞いてとても心配(トラクター側)しましたが、使ってみてとても納得いく仕上工程で満足しています、パワーハローも使用していますが、ロータリーハローの方が初期中期後期と生育にムラのない事に納得しています。今年も全ての作物の整地(小麦、いも、ビート豆コーン)に使用したいと思っています。（北海道 岩城様）

■長野県誕生150年おめでとうございます。私の大好きな長野県何回訪れたか数え切れません。昨年も稲穂が実る風景が見たくて9月の中旬3泊4日の予定で観光兼好強をして参りました。一番好きな所は安曇野ですかねー・北アルプスを見上げたらさわやかな風を体感する。若い時は穂高の駅前から自転車を借り大王わさび園へ行ったり本当に美しい風景です。今迄はせいぜい2泊の旅行でしたが思い切って昨秋は3泊しました。新潟空港に降りて一路電車で富山迄車窓の稲穂を見ながらの移動すばらしい景色でした。ここでも多くのニプロの製品が使われているのだろうと思いながら立山経由で長野県に入りました。松本空港を出発する迄、昼も夜も楽しい長野県を満喫しました。（北海道 村上様）

■令和8年の今回は長野県の農家の農業の作業をガンバッテ仕事をしている姿を見てよかったです。（青森県 奈良様）

■水稲の乾田直播を検討しているので特集を掲載して欲しい。（岩手県 中島様）

■先日(1/28) 松山原造さんに逢いに行って来ました。私がまだ小学生の頃、下校途中に馬耕で田起しをしているのを見て、馬の迫力と見る見る内に土がひっくり返えるのを見て驚いた事を思い出として残っていたので、いつか記念館を尋ねて見ようと思っていました。馬耕にも沢山の歴史があった事と昔の思い出が繋がり、そして改めて原造さんの農業に対する熱意を感じて楽しい時間を過ごさせていただきました。又、案内をしていただいた女性の方には最後迄丁寧な説明をいただきありがとうございました。（岩手県 髙橋様）

■いつも大変とお世話になっております。とても良い機械を製造していただきまして有りがとうございます。農作業が楽しく出来ます。これからも良い機械を開発して楽しませて下さい。（岩手県 中野様）

■”ゆめ農業”の19才の若い人がひとりで20ha～50haにもなっている面積を米作りで11俵半も取るなどすごく頑張る姿、頼もしく思い感心して読ませてもらいました。5ha元気84才です。（宮城県 大石様）

■毎回ニプロウェーブ楽しみにしています。私は73才、息子と2人水田12ha小麦5ha野菜若干の経営です。トラクタクボタMZ705でロータリーAXS2210H、ウィングハローWRZ3900N、ヤンマーAU650にスライドモアTDC1400装着、調子良く快適に効率よく農作業を進めさせて戴いて居ます。今年はロータリー爪交換を考えていました。御社の益々のご発展を御祈り申し上げます。(宮城県 筒井様)

■スタッフの皆様、毎回話題提供して頂き有難うございます。農業に必要なトラクターの付属ロータリー等、使い易い、しかも強く長く使う装置、安心して前進させれば耕起が確実。稲等を作付し排ワラの処理、畦際の耕運、気の使う場所、安心な食物を作付し、全国の皆さんに安定した食物を提供して行きます。（宮城県 浅野様）

■早速46号送付頂きありがとうございます。今後も新しい生産法人さんとか取材して本号に載せてもらいたい。（宮城県 百々様）

■ニプロフレールモアFNC1402Fを使用し毎年草刈をしています。いっきに草刈が終了するのでたのもしい相棒です。そろそろ刃の交換時期かなと考えているところです。ニプロさんのフレールモアは丈夫で頼りになります。信頼しています。(宮城県 佐藤様)

■「ニプロウェーブ」毎号農業機械の進歩に驚いて居ります。今年も畦塗りとウィングハローのお世話になり田植も終えホッとしたところです。46号の記事の中では、ウィングハローのメンテナンス大変参考になりました、又松山犂の変遷の中で犁先に鋳物製が使われたとは驚きです。今年からは直播機の普及が多くなりそうな気がします。中小規模の農家にとってはどの様な対応になるか関心がもたれます。又、長野県誕生150年の記事には、私も若い頃、八ヶ岳農場に居りましたので昔の事を思い出して、なつかしく感じて居ります。(宮城県 三浦様)

■アッパーローター ～おもしろいですね!何か今いち良く分からないが、まず爪が違うのと回転をみると正回転なので要は普通の回転でトラクターが正回転のままバックして耕うんしている感じなのかな?一度試してみたいと思います。(秋田県 工藤様)

■ニプロロータリー、ハローを使い始めて40年近くになります。水田2.1haなので使用時間も少ないかもしれませんが、未だに故障知らずです。まだまだ農業は続けますが、私がリタイヤするまでは元気に動いてくれる相方と思っております。「ゆめ農業」コーナーの安曇野市の記事を拝読し、いつか訪れてみたいと思っております。(秋田県 武藤様)

■「ゆめ農業」の、若い中野様のひた向きな内容がよかったです。我が町にも大卒の新卒農業者が続々現れうれしく思っております。昨年、ニプロブロードキャスター購入しました。ケイカル散布して品質向上させ高温障害に対応したいと思います。ロータリーしか持っていなかったのでニプロコレクション増してゆきたいです。山形クボタ展示会にてスライドモアのリモコン左右あったので左側通行の作業できるのかお聞きしました。農業法人代表、農業委員、総代長(Ja)土地改良区等役人兼務しながらの兼業ですが、30ha仲間とがんばっております。これからもニプロウェーブ楽しみです。ペーパーレスの時

代ですが続けて下さい、お願いします。地理、歴史大好きなので長野県誕生150年よかったです。2回しか行った事ありませんが、わさび農園、長野、松本、上田よかったし、もうひとつの五稜郭行きたいいです。これからもよろしくお願いします。（山形県 髙橋様）

■貴社のあぜぬり機SZR304NJ購入して3年目になります。フロントローダ付のトラクターに取付していますが、重量バランスがよいため当地域である中山間地域では取り回しが楽で、しかも電動リモコン付きなのでとても重宝しています。（山形県 細谷様）

■毎回「ニプロウェーブ」を拝読させていただきありがとうございます。いいとこあるよ ニプロ周辺MAP、写真が大変きれいでみとれてみています。又、旅心を誘います。今年も農作業が始まりますが健康で過ごして、一年が終りニプロウェーブを見たいと思います。（山形県 大浦様）

■今回発行されたVOL.46号の掲載記事に長野県生誕150年周年とありました。山形県も生誕150年周年にあたります。又、当県に果樹栽培されてからも151年となります。今回は日本一となる位の天童市の生産量、果樹の品目を紹介します。ラフランスは日本一、さくらんぼ第2位、そして米の本県の銘柄米特A16年となる「つや姫」は県内第2位と優良栽培です。その影には先人の賜と現在の栽培技術があります。もちろん「ニプロ」の製品も活躍しております。（山形県 庄司様）

■米作りは息子に任せ、眺めているだけの自分に、最新情報、各地で活躍されている皆様の紹介など、有難い限りです。家内が長野県駒ヶ根出身で善光寺はもとより安曇野、飯田などに旅した記憶が蘇りました。記事の中には19才で頑張る青年。「アフターフォロー」はヤンマーの人です。小生もヤンマーの人にどれだけ助けてもらったか、ニプロさんもきっと、人も機械を大切になさっているのだと確信することが出来ました。今後の御繁栄を祈りつつ次号を楽しみに待ちます。（福島県 小椋様）

■ウィングハローのメンテナンス等は大変参考になりました。こういった商品の特集を毎回お願したい。スピードカルチAPC1701を使用していますが、ツメ部分の樹脂(白色)の消耗がはげしく新品交換後3ha位で使用不可となります。ツメ部分を鉄製に交換出来ないでしょうか？ アドバイスお願い致します。（福島県 白土様）

■いつもNiplo情報誌を送付頂きありがとうございます。早速開封し拝読いたしました。長野県150年を迎えおめでとうございます。ただ年月を経るのではなく常に進歩を重ねる努力は本当にたくましく感じます。Niploの情報誌何が楽しみ・・・一番は、NIPLOさんが次に向かってのチャレンジをして実践をしている様子、本当に次の夢を楽しみにしています。農耕革命をよろしく。（福島県 八幡様）

■私は高齢者で農業をやっております。長くニプロを使っております。ニプロ製品は鉄板が強く安心しております。令和8年1月にもロータリー2mを買いました。ニプロ製品今後も長く使用すると思っております。（福島県 西村様）

■「広がる田園風景と水鏡に映る常念岳（安曇野のシンボル）」の写真がいいなぁ!昨年「大王わさび農場」へ行ってきました。湧水が日本一ですね。私はグランドロータリー、ウィングハロー、アッパーローター、スリップローラーシーダーを使用しています。あっそう、あぜぬり機も。いずれにせよニプロウェーブでのメンテナンスについての情報大変助かります。高価な機械だけに大切に使用します。（福島県 猪狩様）

■いつも「ニプロウェーブ」を楽しみにしています。とても内容が豊かですね。今年も田植えが終わりまわりの風景をほっとしてながめています。夏は「スライドモア」での草刈りで田園風景は美しくなります。（福島県 鈴木様）

■何時もニプロロータリーを使用しています。春耕の時期になってまいりました。貴社のロータリー（SX2020）だと思いますがチェーンケースの回りからOIL LEAKして修理に出しましたが修理の都合上順番でいつ終わるかも不明です。新しいロータリー（BUR20シリーズ）2020が欲しいのですが、納入時期が不明です。稲作農家として死活問題です。ヘルプミー 宜しく。（茨城県 酒井様）

■いつも資料頂きましてありがとうございます。私も74才なのでニプロさんの機械をそうは買えませんが参考にはします。私も長男が体がよくないので容易ではありませんが妻と二人で頑張っています。私の集落でも籾摺りから全部やる人は3軒しかありません。あとの人は大きい専門的にしている人に頼んでいます。今後私もできるだけ頑張ります。コンバインも乾燥機も無駄になりますので。（茨城県 岡野様）

■ニプロ情報誌、今特に情報誌が少ない中、私達年寄りは楽しみに読んでおります。私はニプロの製品はハローを使用していますが丈夫で大変助かっております。これからもお願い致します。情報誌ありがとうございます。（茨城県 森谷様）

■ニプロのハローに惚れ買い求め私も78歳と高齢者に。そろそろ子供にバトンタッチしようと思います。心身楽しく此れからも子供に付いて行きたいと思います。（茨城県 神長様）

■ニプロのロータリーは若いころより使っていました。去年ロータリー軸のベアリングがこわれて使えなくなりました。40～45年使ったと思います。ニューホランドさんのお世話になり、又ニプロのMXR2021に買い換えました。重量感があり安心して使っています。機械は常にシンプルイズベストと思って選んでメンテナンスし愛着を持って使っています。茨城のロートル農家、フジイチより!! 長野の観光情報、興味を持って目を通しています。いずれ会社訪問もできればと思っています。（茨城県 藤ヶ崎様）

■毎回「ニプロウェーブ」を拝読させて頂き、読者の農機具の投稿や感想等が参考になっています。Niplo Wave 46号シリーズ「ゆめ農業」安曇野市編を拝読し、会社員時代の出張で長野県に行った際に、何度か安曇野市を訪れた事が懐かしく思いました。掲載ありがとうございました。現在、クボタのトラクター(32PS)とニプロSX1705を長年(約30年)故障もなく使用していましたが、昨年、初めて自動耕深ができないトラブルが発生し、耕深制御ワイヤーの交換を行い正常に復旧して活躍しています。又、ロータリー爪もニプロ純正爪と両端プロフェショナル爪を使用し耐久性は非常によいため、コスト的には高い爪ですがコストパフォーマンスが良く経費低減にもなっていいます。（茨城県 菊地様）

■「ニプロウェーブ」毎回楽しみに拝読しております。ニプロ農機具を購入の際に、本誌に掲載されている話題の新製品を参考にさせていただいております。今までニプロのハロー WBS05を使用しておりましたが、本誌vol43、44で掲載されていたウィングハロー「WRZ10 シリーズ」の均平板加圧機構（特にリモコン操作で作業中に加圧 ON/OFFを切り替え可能）に興味を持ち、昨年秋に注文、今年1月に納機いたしました。今春の代掻きの仕上がりが楽しみです。御社の益々の発展とより良い製品の製造に期待しております。（茨城県 稲田様）

■ニプロサーフロータリーを使用して4年、湿田での作業高効率ですごく助かっております。土の付着も少なくオススメです! （茨城県 菅谷様）

■新しいロータリーを注文しました。3月に納品という事で心待ちにしております。ニプロ製品を末永く愛用したいと思います。 （栃木県 保澤様）

■46号のウィングハローのメンテナンスは中々ためになります。どこをメンテするかわからない人にとってはためになります。ほかのロータリーなどメンテも紹介して欲しいです。 （栃木県 生沢様）

■ニプロロータリー、ドライブハロー、草刈機を使っています。後期高齢者になります。できるかぎりガンバリたいと思います。 （栃木県 羽石様）

■シリーズゆめ農業 中野様の農業の取組みの話は大変ためになりました。中古のあぜぬり機がほしいです。どこかにありましたらお願いします。田米8ha、麦2ha実施しています。昨年は米が高かったので収入が多くなりました。 （栃木県 磯様）

■毎回ニプロウェーブありがとうございます。ニプロ製品は他社の製品より誰でも簡単に使用できるメリットがありますね。 （栃木県 磯藤様）

■いつも情報誌ありがとうございます。ニプロあぜぬり機の購入を考えています。すばらしい製品をこれからも開発宜しくお願いします。キングオブインプルはやはりニプロです。松山バンザイ !! やっぱりニプロが一番 !! （栃木県 佐藤様）

■温暖化のためか草の伸びも早く、又1年で4月から10月までと草刈り期間も長くなり何度も刈る様になり、現在ハンマーナイフ(キャタで歩行型)で刈っていましたが暑い中大変なので、今年フレールモア「FNC1602TF」を購入しました。早く機械を使って草刈するのが楽しみです。後期高齢者ですが体が続く限り頑張ってゆきたいと思います。 （栃木県 渡辺様）

■那須も温暖化で冬の雪不足で(スキー場もなくなり)、春の農作業も今からニプロ水田ロータリーを使用して植え代かきと実施するのですが心配です。 （栃木県 相馬様）

■vol.46号のゆめ 農業を読ませてもらいました。安曇野市で大規模な農業を経営する中野さんにとってニプロのアタッチメント類が使われており大規模経営にニプロが貢献していることが読みとれました。 （栃木県 中田様）

■3反の休耕田の草刈りを私がウィングモア、妻がスパイダーモアで行っていましたが、今年フレールモアを購入しました。2回ほど使用しましたが最高です。妻も喜んでいます。 （栃木県 石下様）

■前略、毎回ニプロウェーブを楽しみにしています。現在共同で、ニプロウィングハロー 3.6mを年間約4ha使用して13年目になります。今年の代かき中に、チエーンケースに穴があき修理をしましたが、古くなったので新品を注文しました、ニプロウィングハローWRZ3610N-0SI5です。来年の4月に使用したいのですが、製品が間に合わないかもしれないと言われましたが本当なのでしょうか? 間に合うよう、大変でしょうが生産の程よろしくお願いいたします。がんばってください。 （栃木県 大塚様）

■いつもニプロの商品を使っております。畑の仕上りも良く野菜の生育も良好です。今後の新しい商品にも期待しています。 （埼玉県 佐藤様）

■私は13年前から本格的に米作りを始め現在は280a田んぼを耕作しています。ニプロ製品は畦塗り機、ウイングハロー、ブロードキャスターを使用しています。毎号ニプロウェーブが送られて来るのを楽しみにしています。2026年春の46号のニプロみんなの広場の中に、中型トラクター (25馬力～35馬力)でも使用できるスライドモアを希望される記事がありました。私も以前同じ記事を投稿していました。刈り幅80cm程度で軽量化されたスライドモアの商品化を熱望しています。 是非他社よりも早く小型のスライドモアの新商品の開発をお願いします。これから高齢化が進む中、小型、中型トラクターでの装置が必要と成っています。(埼玉県 山下様)

■ニプロ作業機講座大変ありがたく読んでいます。勉強になります。ウィングハロー3600、スライドモア1400使用させていただいています。これからも良い製品を開発してください。ニプロウェーブ楽しみにしています。 （埼玉県 横山様）

■先祖代々の田畑がある以上はと、5年前に父から引き継いだニプロのロータリーSX1710を使って、葱・ブロッコリー・カリフラワーを栽培してみました。しかし、残念ながら稲作までは手が回らず、去年ニプロのフレールモアFNC1402 RFを購入し、雑草の刈り込みもしました。以前、刈払機で刈り込みした事を思えば、もっと早く購入しておけば良かったと後悔しています。ただ、思っていた以上に野菜の値段も安くて、なかなか機械代金を捻出するのは容易ではないことがわかりました。今後も、頑張りますね。 （埼玉県 小坂様）

■みんなの広場の所がたいへん参考になり作業の改善にもなるので助かります。今後も続けて欲しいコーナーです。又、ロータリーやハローなど作業機の取付角度などにより本来の機能を使えていないと聞いています。今更ですが本文に取付角度の向け方や基準など定期的に取り上げて頂くとたいへん助か

俳句・短歌・川柳

◇田おこしや(多耕しや)
　カラスの兵隊ひきつれて
（福島県 鈴木様）

◇又戦　中東の煙不安増す
　人間のおろかさ無力闘争
◇この世にも　いろいろ極楽あるけれど
　露天に浸りて　雪見も悦なり
（富山県 宮崎様）

◇田植え機の　音に消される　父の声
◇もみ殻で　はしかい腕に　オロナイン
（石川県 西方様）

◇田植は風と深水曲がるもと
◇雨降らず田植できるか神頼み
◇農作業機械なしでは出来ないよ
（三重県 加藤様）

ります。(他の作業機もですが) **(埼玉県 原口様)**

■ニプロスライドモアが届きました。よかったです。調子もよさそうです。 **(埼玉県 相沢様)**

■新型のドライブハローのカタログをください。お願いします(トラクターは60馬力)爪の厚みが上がって幅も広がっていいと思った。 **(千葉県 鈴木様)**

■私、成田APの近くの稲作農家です。長男、次男(2人とも会社員)と米作りに頑張っている79才の元気な?老農家です。今年はあぜぬり機ニプロDZR304を買いました。楽しみです。 **(千葉県 髙塚様)**

■2年前位からロータリーを使用しています。以前使っていたものとは比べものにならないくらい1回耕運しただけでも稲ワラが非常にすき込まれていて、耕運した後がキレイに仕上がっています。違う作業機もニプロにしようと思います。**(千葉県 今泉様)**

■30年間愛用していたトラクターを更新しました。農機具屋さんの紹介でニプロのドライブハローをすすめられ購入しました。代かき速度を上げても仕上がりがとてもきれいで均平に仕上がり、しかも作業時間の大幅な短縮につながりました。最近のハローの進化には大変驚いております。信州に行ったら是非松山記念館を見学したいと思います。御社の発展をお祈り致します。 **(神奈川県 沼田様)**

■安曇野市のことが良くわかりました。若い方が職業を農業として選んでくれたのはとても喜ばしい事です。それに対してメーカーさんが協力いただけるのはありがたいことです。またニプロさんが「犁」を開発した会社だとは知りませんでした。私が子供の頃に親父が良く耕運機に犁を付けて田んぼを耕していたのを思い出します。父親は30年前に亡くなってしまいましたが、今は私がトラクターのロータリーでかき回して田んぼを作って米を食べています。

(神奈川県 桐生様)

■今回は、ロータリーの各種でしたが私の家の(2台のトラクター)ロータリーは全てニプロです。またプラウもニプロです。我家は蒟蒻農家で(唯一の天皇下農家)堀取機も4台ありますが全てニプロです。「昨年製造を止めた最も高い掘取機を40年前に県で最初に買入し修理しながら4台買入しました。ニプロは素晴しいです。 **(群馬県 小山様)**

■いつも楽しく拝読させていただいております。昨年ニプロ様のフレールモアFNCを導入いたしました。今までは不耕作地の除草をロータリーにて浅く起こしておりましたが、時期を逃して長く延びてしまった草には骨を折っておりました。フレールモアなら草の背高は関係なくバリバリ除草ができ大変重宝しております。また暖かくなってきて草も出始めたので活躍してもらおうと思っております。**(群馬県 五十木様)**

■小型のスリップローラーシーダーは作れないんでしょうか? **(新潟県 大島様)**

■令和7年産米、価格の高騰安定経営に近づくも税金対応が大変複雑な状況で春作業に向っています。今はWRZ3900Nのハローを使っています。あぜぬり機は他社ではありますが、今期増機する事にしました。 AUZ355NJCを発注したのですが春には間に合わず7月頃の納品との事で少々残念ですが、やはりニプロの作業機は長い目で見たら安定機と思います。 **(新潟県 土田様)**

■昨年ウィングハローを買ったのですが、接合部が少し均平性が悪い様な気がしましたので新商品の参考にして下さい !! 次回のニプロウェーブも楽しみにしていますので宜しくです。**(新潟県 桑原様)**

■今年4月納品でハローWRZ3410N-0SY5を買いました。果たして使い心地はいかがかな?と思っています。というのも最初他のメーカーを希望していたから!トラクターはヤンマーYT333Aです。

(新潟県 俵木様)

■BUR20シリーズのホルダータイプで条間は75cmのみでしょうか。私のところでは条間は80cmで行っています。ロータリーのミッションとチェーンケースのオイル量はチェックしていたが交換はしてなかったので作業前に取替えたいと思います。

(富山県 上開発農産様)

■いつもニプロウェーブを楽しく読んでいます。一昨年から乾田直播を始めました。秋にはニプロのウィングハローを使って代掻きを行い、圃場が均平になって大変満足しています。 **(富山県 山下様)**

■いつもありがとうございます。大地とともにを読んで… !! 原造氏は犁の事をよく考えておられこの様な単ざん双用犁を利用者の立場に帰り考えられた事は頭が下がります。これからも貴社とともに頑張りましょう。 **(福井県 田中様)**

■リンゴ、ナシ、ブドウを1,5ha栽培しています。剪定した枝の処理にはフレールモア (FNC) を20年程前から使っています。サイズも1400から1600に替えトラクターも馬力アップして省力、快適に作業しています。もう少し太い枝まで処理できるトリチューレーター(チョッパー) のような物を開発・販売してもらえるとありがたいです。→是非ともよろしくお願いします。 **(長野県 島津様)**

■今迄は、個人所有の機械で組合圃場作業をしておりました。今回トラクター・ロータリー(SKS2201D)とウイングハロー(WRZ3910N) を導入し、今年度から作業致します。今迄の個人所有の機械も利用し対処する予定です。ロータリー(SX1910) ウィングハロー(WRZ3910N) 畦塗り機 (DZR03C)。 **(長野県 田中様)**

■ニプロ様 以前ハローHC1630A2KA買って私家は田の面積小さいのでようやくなれました。又、年なので息子2人で作業します。これからもニプロ製品使いたいと思います。 **(長野県 小山様)**

■いつも楽しみに見させていただいております。長野県に住んでいて、すばらしい自慢できる企業です。これからもより良い製品を作って農家に提供して下さい。全国の農家のニプロみんなの広場いいです、おもしろいです。編集の方は大変な作業だと思いますが、がんばってやって下さい。**(長野県 中込様)**

■今年も田んぼのシーズンが来ます。ニプロさんのあぜぬり機やロータリーや代かきハローが活躍します。トラクターメーカーによりヒッチが違うのが難点ですネ!

(静岡県 青野様)

■今年もあぜぬり機の季節がやって来ました。1年に1日使用するだけですがその仕上りには充分満足しています。時間も余るので隣近所の分もやってあげています。ニプロさん本当にありがとう。

(静岡県 深澤様)

■米農家・今回の中野さんと全く同じで1台グランドロータリーSKL2201を買って良かったから他の使えるロータリーがあるけどSKL2401を追加で買いました。他のロータリー3回耕すところをグランドロータリーなら2回で同等です。・均平板のステンレス部の上に土が付きます。均平板もフロントラバーの様にゴムにして下さい。 **(愛知県 兵藤様)**

■ニプロみんなの広場の中にてスリップローラーシーダーSRが取り上げられました。全幅が2955(2790)広くて大型トラックに積載は横幅(2400)から出るため走行に危険つき、安全で走行の横幅2400に対応したスリップローラーシーダー作ってほしい。 **(愛知県 大口様)**

■昨年からスライドモアTDC1501をヤンマーYT357で使用しています。とても使いやすくて重宝しています。今年はWRZ4210Nウィングハローを使用しようと思います。（三重県 藤原様）

■私伊賀忍者の里伊賀市で耕作面積10haコシヒカリ、キタヒカリ作付けしています。アタッチメントはすべてニプロ製品を使っています。（三重県 猪野様）

■ニプロの作業機は丈夫で故障がないと聞いて購入しました。障碍者の方と農家をやっています。露地部間を規模拡大中です。一度工場見学をさせて下さい。（三重県 川出様）

■ニプロウェーブありがとうございます。年令と共に愛用のニプロ製品も少し古くなって来ました。80才を過ぎ年々耕作面積を減らして来ましたが、昨年より長男が農業を手伝うようになり、今年ディスク6連の円盤を新しく取替え(ハロー・グランドロータリーの爪も新しく)深耕にがんばっています。昨年は3.5hの稲作でしたが全量一等米で米価も高く喜んでおります(高温対策の深耕はいいですね)アッパーローター検討中です。爪がいいですネ。このロータリーで耕耘した後のハロー作業美しく楽に早く仕上ると思います(秋刈取り収穫後、石灰窒素散布して田んぼが乾く度、ディスクで耕し返しています。深耕出来、田んぼに草1本もありません)。（滋賀県 奥村様）

■ゆめ農業、1ページ目の中野さんの圃場の写真に魅了されました。私も、大好きな景色を見ながら農作業をやりたいという理由から、京都北部の美しい鉄橋が見える田んぼを借りて農業をしております。機械での作業とはいえ、夕方には疲れ果てますが、大好きな景色の夕暮れは、ただの疲労を心地良い疲れに変えてくれます。この写真に限らず、ニプロウェーブは写真がキレイなので目の保養にもなります。表紙のイラストも味わいが有りとてもイイ感じです。次の号が届く頃には稲もかなり成長している予定です。順調に育つ稲を見ながら貴誌を拝見できる事を楽しみに今シーズンもがんばります。（京都市 松山様）

■ニプロウェーブvol.46春号いただきありがとうございます。今回のアッパーローターシリーズの特徴・構造・しくみ説明に惹かれました。今年もまもなく稲作シーズンなります。代掻き作業で活躍してくれるウィングハローのメンテナンスについて作業機講座はよかった。早速WRZ3900N＃7286のオイル交換、グリースの補充やろうと思います。ミッションケース、チェーンケース、軸受部の写真・図解説はとてもよくわかります。ありがとうございます。（兵庫県 古川様）

■いつも楽しみに待っております。コウノトリのふるさと兵庫県豊岡市で農業をしており、いつも鳥を見ております。耕作している田んぼの20m位先に巣塔も設置してあります。今は全国にも広がっており投稿された方の記事もみております。さてドライブハローを購入してもうすぐ10年になります。現役で修理をすることなくガンバッテくれています。（兵庫県 上山様）

■二男が松本に住んでおり孫の宮参りを穂高神社で行いました。安曇野の風景とってもなつかしく拝見させていただきました。（兵庫県 上田様）

■ニプロウェーブを送っていただき設備を検討するために参考になります。私が設備を検討するのは3月で補助金を申請する為には年内に納品が必要になります。本年は納期が長い為購入できない機械があり残念です。（兵庫県(農)西治営農組合様）

■やっとあぜぬり機を買いました(SZR304N)。令和8年も仕事しながら農業も頑張りたいと思います。（兵庫県 田中様）

■いつもニプロウェーブを楽しく拝見いたしております。あぜぬり機ニプロLZR303NJCを使用しています。作業前にはニプロウェーブNo.42の調整作業を読み直し頭に入れてから作業しております。近所の農家さんよりうちの畦も塗ってほしいと頼まれる程腕が上がってまいりました。ところで皆さま、あぜぬりの圃場は稲刈後トラクターで耕す方が良いのか?耕さない方が直進性が良いのか?私は稲株が粉砕している方が畦に土が乗りやすいと思っています。（兵庫県 古家様）

■ハロー購入しました。初めてでしたがなんとか使用しています。次回はあぜぬり機を検討しています。（兵庫県 坂本様）

■昨年まではトラクターをヤンマーEF120でニプロウィングハローWCS2400Bを使っていましたが、YT225Aキャビンに買替えました。ハローもニプロウィングハローWBZ2700Nに買替えました。今度はトラクターに乗ったままリモコンで操作ができとっても楽になりました。アプリをダウンロードして作業を登録しようとやってみましたがうまくできなかったので、登録する動画をアップしてほしいです。（兵庫県 片山様）

■毎回ニプロウェーブを読ませてもらっています。ニプロフレールモアFNC1402RFを購入してヤンマートラクターYT225の純正ロータリーと付け替えて使用しています。今回の「Vol.46」表紙のイラストのスリップローラーシーダーはニプロ製のものなのでしょうか。乾田直播を検討しているので、田植機を更新するか迷っています。そこで奥行の短い小回りの効く安価な直播機が開発・販売されることを待ち望んでおります。よろしくお願いします。（奈良県 林様）

■ニプロフレンズクラブ事務局様 全国ニプロ愛好家の皆さんのお便り、毎回楽しく拝読しております。今年も田植シーズン到来、播種から始まり多くの作業工程を経て、5月24日田植が無事完了しました。主要な作業は機械化により省力化されましたが、まだ多くの手作業が残っており、超高齢者(82才)には大変です。このため、高齢者にやさしく重労働から解放される方策、例えば、苗箱の床土に代えマット使用、田植機の苗補給に苗スライダーを自作、肥料散布に古田植機に散布機を積載するなど、知恵を絞りながら楽しく農作業を続けています。天候不順で耕耘は思うようにいかなかったが、ニプロのウイングハローの活躍で見事な仕上がりとなりました。（鳥取県 安永様）





■やはり春になると鳥が姿を見せてくれます。イソヒヨドリもキセキレイも美しい声で鳴きます。どちらも家の塀に飛んで来たところを急いで撮影しました。（岡山県 藤田様ご夫妻）

■アッパーローターこれはいいですね!特に表層が細かくなる点、稲作で乾田播にはいいのではないかと思います。またリアサブソイラー付R仕様これもいいな!今度展示会でよく見てみたいです!
（岡山県 小守様）

■・オイル交換時で排出又は注油口など直にわかる様に色別や表示があればうれしい。・オイル交換後に年月日等表示板などの箇所があればうれしい。
（岡山県 先本様）

■①「ニプロみんなの広場」多数の意見や感想があり良かった。②新製品の紹介(「これが話題の新製品」)が今後の検討材料となった。③製品のメンテナンス情報が今後の役立ちを感じた(「ニプロ作機講座46」)ある程度の数になれば編集してはどうか？ 最後に、今後も役立つ情報を願います。
（香川県 西山様）

■・オフセットモア本体は堅牢であるがリモコン固定ホルダーが必要です。傾斜地は同じ角度では無く作業中にたえず角度を変える必要があり手に持って作業出来ず(固定が安全です)・アッパーロータリー(グランドロータリー)(2ヶ所)使い方が荒いかも?若干弱い気がします。裏に土が沢山付くと故障あり?・黒い事ばかり書きましたが商品的には他社よりすごく満足しています。
（香川県 眞光様）

■あぜぬり機を使っているけど水分もあるが毎回良くできている。ハローも検討中。（香川県 石川様）

■今年ももうすぐ田植えの時期がやってきました。ふだんからグランドロータリー・スライドモア・ウィングハローを使わせていただき大変効率よく作業が出来楽をさせていただいています。今年は念願の畦塗り機を購入させていただく予定です。今年は約200枚から240枚の田んぼになりそうです。頑張って美味しいお米を作りたいと思います。（愛媛県 八木様）

■私は退職後、山間地で米作りを少し行っています。R2年よりハロー(WBS2410N)を使用しています。大変コンパクトで使いやすいハローで助かっています。
（高知県 市川様）

■ゆめ農業の中野さん、若いのにすごいです。自分の息子と同い年なのにその差は何だろうと考えさせられました。
（福岡県 舩津様）

■各展示会等では粗品でもあげてほしい!(佐賀県JA)(農機課)他のメーカーはありましたよ !! 社員の方はもう少し元気があればいいですね !! 今年フレールモア購入しましたがまだきません !!
（佐賀県 峰様）

■去年ウィングハロー(WBZ2800N)を購入し即実践。初めての使用とはいえ作業効率そして仕上がりと満足のいくハローでした。そして今年はあぜぬり機を購入し使用させていただきます。
（佐賀県 筒井様）

■お世話になります。各機器のメンテの方法を紹介して下さりありがとうございます。シーズン毎のメンテナンスの方法をお知らせ下されば勉強になりますのでよろしくお願いします。
（大分県 堀様）



■ニプロみんなの広場に、初投稿させて頂きます。私は会社員をしながらの稲作兼業農家です。諸事情により、稲作を中断して約3年になりますが、水田の雑草対策に悩みを抱えていたところ、昨年にフレールモアの存在を知りました。早速、購入し使用したところ、納得の性能です。3年後稲作を再開するまではフル稼働で使います。折角なので作業風景の写真を送ります。（佐賀県 田久保様）

ニプロみんなの広場 作品募集中

皆さんからの楽しいお便りや、イラスト、風景写真、作業写真、俳句や川柳、短歌、我が家の自慢料理　など（レシピのみでも、写真やイラスト付きでもOKです。）

採用は誌面にて行います。応募して頂きました写真や原稿などは、原則としてお返しいたしませんのでご了承ください。誌面の都合上、文章などを一部変更させて頂くこともございます。

応募方法　郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、お分かりになれば会員番号をお書きの上、右記までお送りください。

締切り　2026年12月25日

添付のはがきをご利用ください。
（お手持ちのはがきでも結構です）

〒386-0497 長野県上田市塩川5155
松山(株) ニプロフレンズクラブ事務局

E-mail でも受付けています。→ nfc@niplo.co.jp

ご応募お待ちしています！

「ニプロ君&松子ちゃん」の ぬりえ募集中！

弊社ホームページの「ニプロフレンズクラブ」メニュー内の「ニプロ君&松子ちゃん」コーナーに、ぬりえの台紙データを掲載しておりますので、是非とも、お子さん、お孫さんとぬりえをお楽しみください。
(ぬりえの台紙を希望される方はご連絡いただければお送りいたします。)
描かれた作品をニプロフレンズクラブ事務局宛にお送りいただければ、Niplo Wave誌面内または、弊社ホームページの「ニプロフレンズクラブ」内で掲載させていただきます。

作品送付方法　**郵送**または、**メール**（スキャニングして添付ファイルとして）にて、左記の事務局宛にお送りください。

大地とともに

単鑢双用犁製作所の創業①

単鑢双用犁の発明は日本の農業に変革をもたらしました。

1900年（明治33年）12月、原造は、自ら開発した犁の製作に専念するため埴科（はにしな）郡農会を辞職し、田中新太郎氏のもとへ戻りました。そして、田中家の酒蔵の一部を借り受け、「特許出願中単鑢双用（たんざんそうよう）犁（り）製作所」の開設に向けた準備を始めました。

翌1901年（明治34年）、出願中だった双用犁が特許を取得すると、「専売特許単鑢双用犁製作所」と改称。1902年（明治35年）6月に工場を開業しました。これが松山株式会社の始まりとなります。

大正期に入ると、敷地300坪、建坪164坪。犁先を製造する鉄鋼部には鉄工作機3台と炉5基、木製部分を製造する木工部には木工機3台を備えていました。従業員25名（うち工員21名）を雇用し、年間3,000台の生産を目標にしていました。

原造は、単鑢双用犁の特許取得だけにとどまらず、各地の農地条件に適した犁を次々と開発していきました。これにより、山間部の小区画耕地や傾斜地、不整形な耕地でも、畜力による耕作が容易になり、日本の農業に大きな変革をもたらしました。

また、松山犁は土を反転させる性能に優れており、畑地の開拓や農業経営の効率化にも貢献しています。

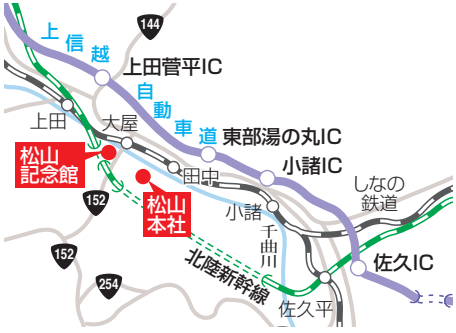
小県（ちいさがた）郡真田町（現上田市）の菅平では、わずか数町だった耕作面積が、松山犁の普及によって205町にまで拡大しました。現在、菅平は高原野菜の一大産地として広く知られています。

しかし、創業当時の松山犁の歩みは、決して順風満帆なものではありませんでした。

（次号へ続く）



【創業当時の木工部】



松山株式会社

本　　社：	〒386-0497 長野県上田市塩川5155	TEL.0268-42-7500	FAX.0268-42-7520
物流センター：	〒386-0497 長野県上田市塩川2949	TEL.0268-36-4111	FAX.0268-36-3335
北海道営業所：	〒068-0111 北海道岩見沢市栗沢町由良194-5	TEL.0126-45-4000	FAX.0126-45-4516
旭川出張所：	〒070-8451 北海道旭川市永山北1条8丁目32	TEL.0166-46-2505	FAX.0166-46-2501
帯広出張所：	〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線18番10	TEL.0155-62-5370	FAX.0155-62-5373
東北営業所：	〒989-6228 宮城県大崎市古川清水三丁目石田24番11	TEL.0229-26-5651	FAX.0229-26-5655
関東営業所：	〒329-4411 栃木県栃木市大平町横堀みずほ5-3	TEL.0282-45-1226	FAX.0282-44-0050
長野営業所：	〒386-0497 長野県上田市塩川2949	TEL.0268-35-0323	FAX.0268-36-4787
岡山営業所：	〒708-0844 岡山県津山市瓜生原757-4	TEL.0868-20-1650	FAX.0868-20-1651
九州営業所：	〒869-0416 熊本県宇土市松山町1134-10	TEL.0964-24-5777	FAX.0964-22-6775
南九州出張所：	〒885-0074 宮崎県都城市甲斐元町3389-1	TEL.0986-24-6412	FAX.0986-25-7044

松山株式会社ホームページ● https://www.niplo.co.jp　● E-mail　nfc@niplo.co.jp

VEGETABLE OIL INK
この印刷物は、大豆油インクおよび再生紙を使用しております。

'26.09